

とぶきだい

公民館報

優しく思いやり 明るく楽しい町 寿台

平成30年3月1日現在の寿台	
総世帯数	1,417世帯
総人口	2,991人
男	1,422人
女	1,569人

松本市寿台公民館
〒399-0021
松本市寿豊丘649-1
TEL. (0263)58-6561
FAX. (0263)86-7964

寿台地区市政懇談会

1月25日(木)に寿台地区市政懇談会が寿台公民館で開催され、菅谷市長が自ら「松本のまちづくり」の取組等を説明されました。地区内からは人口減の対策や、生活道路の問題、公営住宅の跡地の利用などについての質問が出され、出席した担当部長から説明がなされました。



▲菅谷市長から市政について説明がありました



▲内山連合会長が座長を務められました

新春落語会

1月20日(土)に寿台地区人権啓発推進協議会による新春落語会が寿台公民館で開催され、約60人が参加されました。落語立川流「立川平林」さんによる悪質商法注意啓発落語を披露いただき、オレオレ詐欺や悪質商法などの手口や注意点を笑いを含めながら学びました。平林さんによると、電話で詐欺被害に遭いにくい人は電話口の向こうにいる見えない相手に考えて巡らせることができるといい、物事を客観的に考える癖があるそうです。落語を聞きながら「次のオチは何か」と考えることで想像力が働くようになると呼び掛けていました。落語会の終わりに、平成26年の安来節全国大会で優勝された実績のある「安来節どじょうすくい踊り」を披露いただき、新春にふさわしい笑いの絶えない落語会となりました。

寿台体育館改修工事の状況

改修工事が終わり、2月から使用できようになりまし
た。耐震補強がされ
照明はLED化によ
り明るくなり、トイ
レもバリアフリー化
され奇麗になりました。
現在、駐車場の
舗装工事が行われて
います。地区の皆



▲床も磨き直してピカピカです

様には体育館の清掃など、維持管理にもご協力をいただきたいです。誰もが気持ちよく使用できる体育館であり続けて欲しいですね。



▲日本一の安来節どじょうすくい踊りを堪能しました



▲落語を通じて詐欺を疑似体験しました

福祉講座

2月23日(金)に福祉ひろばで福祉講座が開催され、約60人が参加されました。相澤病院に勤務する音楽大学出身の看護師、高橋さんを講師に「歌って！動いて！おいしく食べる！」をテーマに講演をいただきました。80歳以上の死因の第3位は肺炎で、原因の多くは誤嚥性肺炎とのこと。加齢により喉の奥にある蓋(咽頭蓋)がうまく閉じなくなり、食物や唾液が肺に入ってしまうことで誤嚥性肺炎が起きやすくなってしまいます。誤嚥を防ぎ安全に食べ続けるために一緒に体を動かしたり、歌ったりして楽しく勉強しました。



▲講師と一緒に歌って学びました

東町会

上條 健彦

この町を暮らしやすい、住みよい町にしたい。このことは、住人の願いだと思います。若者は流出し、高齢者は減り、これからこの町の何を引き継ぎ、何を变えるのか。思考停止になって、現実に対応できなくなる前に、行政も町会も重要な仕事だと思います。

二丁目

荒川 道永

先月も三丁目の友達がこたつで亡くなっていました。孤独死です。少子高齢化社会、一人暮らし、私も後何年で同じように…。

公民館は誰もが参加できる要素が多々あります。心配事を話せる場、生き甲斐を見つける場、そんな公民館になることを期待します。

八丁目

伊東 美佐子

役の御陰様で今年は連合や八丁目の行事に沢山参加させて頂きました。苦手な事は皆さんに助けをもらい無事終わる事ができ、振り返れば楽しい思い出ばかりです。本当にお世話になり、有難う御座いました。

編集後記

館報編集委員



四丁目

高宮 仲夫

大先輩からの「ご苦労様」の一言が何か気持ちを楽にさせてくれました。今、心の中が満足感で一杯です。二年間有難うございました。

九丁目

館報全市版編集委員
小野里 恭子

委員会日程が重なり、町内公民館長会へは欠席することが多く、残念に思いました。全市版に関わり、何気なく目にしてきた館報が先輩方の熱意と努力のたまものと、新任の私には学ばせていただくことばかりでした。活動を通し、多くの方々といふれあうことができ、温かく豊かな心になれました。

五丁目

館報編集委員長
奥野 征勝

「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」と銘打った、公民館研究集会に参加しました。有意義な七時間でした。「この学びを独り占めしたくない。」町会に持ち帰って、皆さんと共有したい。さて、どのようにして伝えるか、『それが問題だ。』

三丁目

中島 孝子

一年間、公民館の活動に参加させていただき、見えないところで働いているのだと改めて思いました。また、仕事をしながらでしたので、行事に参加する事も少なく、ご迷惑をおかけしました。でも、実りある一年間でした。ありがとうございました。



▲うまく「ドラえもん」の顔が作れるかな？

やashioyama作り

2月7日(水)に寿台地区食生活推進協議会による「やashioyama作り」が寿台公民館で開催され、親子を含め17人が参加されました。材料の粉をこねるには力とコツが必要で、加える水の分量も大事です。そして、こねあがった材料は手にくっついて思い通りになりません。悪戦苦闘しながら「ドラえもん」の顔型をした「やashioyama」を完成させました。

- ※やashioyamaとは：釈迦命日に米粉などで作る餅菓子です。名前の由来については諸説あります。
- 高木 謙吉 (体育委員)
- 長澤 喜久子 (体育委員)
- 居畑 明 (体育委員)
- 戸田 道雄 (運営委員)

公民館活動推進功労者

表彰



2月18日(日)に松本市中央公民館(Mウイング)で開催された「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」において、公民館活動推進功労者の感謝状贈呈式が行われ、寿台地区からは左記の4名に感謝状が贈呈されました。長年に渡り公民館委員として、公民館活動の推進にご尽力いただきました。